

# 「授業開き」は規律から？楽しさから？

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

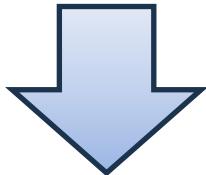
私は高瀬小学校で全学年・全クラスの体育を担当しているため、新年度の最初の授業であっても、子どもたちはすでに体育の授業規律（授業の約束）を理解しています。そのため、あらためて細かく教える必要はありません。

授業開きが必要になるのは、唯一、入学したばかりの1年生だけです。

今回は、その1年生に対して私が行った授業開きの進め方についてお伝えします。

＜これまでのよくやっていた体育の授業開き＞

- ① 体育着の着替え方と脱いだ服のたたみ方
- ② 廊下での並び方
- ③ 移動の仕方
- ④ 水筒の置き場確認
- ⑤ 自分の並ぶ場所の確認
- ⑥ 座り方
- ⑦ 準備運動の行い方
- ⑧ 話の聞き方
- ⑨
- ⑩

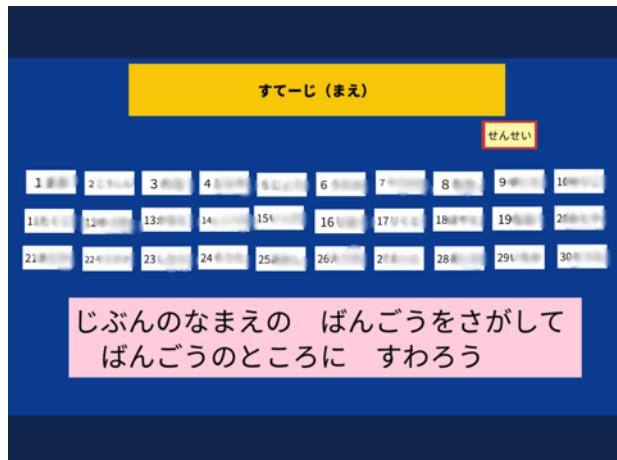


安全を守り、授業をスムーズに進めるために大切なことです。子どもたちにとって守ることが多すぎて、窮屈に感じてしまわないかと考えています。

また、授業開きで一方的に言いたいことを言って、次の時間に、子どもたちが少しでもできていなかったら、子どもに「この前言ったでしょ」「話を聞いていなかったの？」と指導していたことがあります。

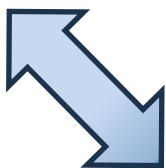
反省をもとに、最初の授業開きで、教科の持つ楽しさを最大限味わわせ、授業規律（約束事）は後から一つずつ教えていくことにしてみました。

最初の授業開きで、子どもたちに求めたのはこれぐらい。



名前と座る場所の確認

## ①座り方ゲーム



## ②ダンスの達人

子どもたちが喜びそうな動画を、プロジェクターに映し出す。身体が自然に動き出す。ノリが良かったので、準備した動画をいくつか流す。



指示が通る！

ここまでくればもう一息

## ③ボールをなげてみよう

投げる場づくりだけでなく、誰一人取り残さず、みんなが投げたくなる場を与える。



隠しておいたパンチバッグの登場



お願いもしていないのに  
気づいたら、食い入るように話を聞いていた！





全員がボールを取りに来ている  
ではないか！



しかも、猛ダッシュ！



紐より前に行って投げといふ子はいない！  
説明をよく聞けていた証拠！



ボールを取りに走って戻っているということは、必然的な学びになっている証



「体育は楽しい」と言って体育館を後にした一年生  
授業開きの目的はほぼ達成できました

今回の授業開きは、先に体育の楽しさを経験させ、信頼関係を作りながら、一つずつ授業規律を確認していこうというやり方で行ないました。このようなものは児童の実態によって変わってくることもありますが、今のところ、子どもたちには合っていたかなと感じています。

